

1 調査の目的

東京都高齢者福祉施設協議会 経営検討委員会では、電気、ガス、ガソリン等の燃料費の高騰が、施設経営に及ぼす影響について、実態を把握し、要望・提言活動につなげることを目的として、「燃料費の値上げに伴う緊急影響度調査」を実施。

2 調査の設計

調査対象：東京都高齢者福祉施設協議会会員の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービスセンター 942施設

調査期間：令和4年6月24日～7月13日

調査方法：ウェブサイト上での回答

回収結果：591施設（回収率 62.7%）

3 集計結果の概要

(1) 基本情報

[施設種別] ※併設事業所合算としての回答は、各施設で回答があったものとみなす。

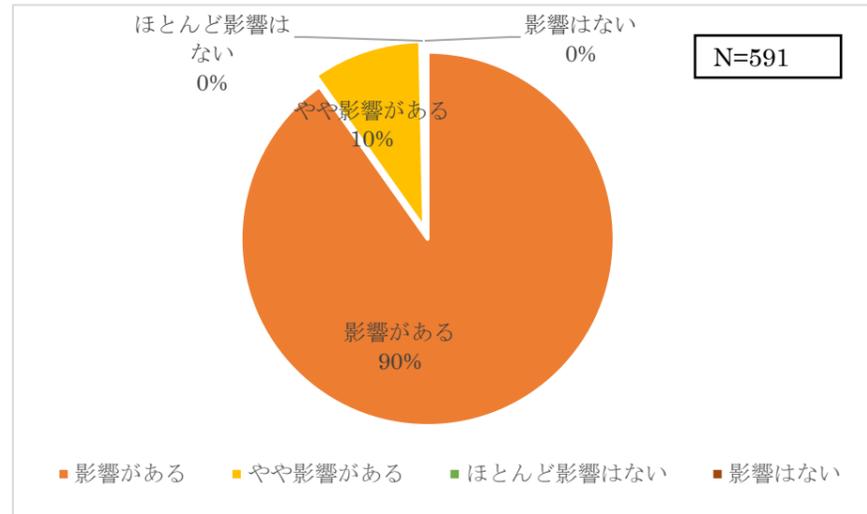
回答総数	特別養護老人ホーム		養護老人ホーム		軽費老人ホーム		デイサービスセンター	
	回答数	回答数に対する割合	回答数	回答数に対する割合	回答数	回答数に対する割合	回答数	回答数に対する割合
591	371	62.8%	28	4.7%	33	5.6%	159	26.9%

[契約している電力会社]

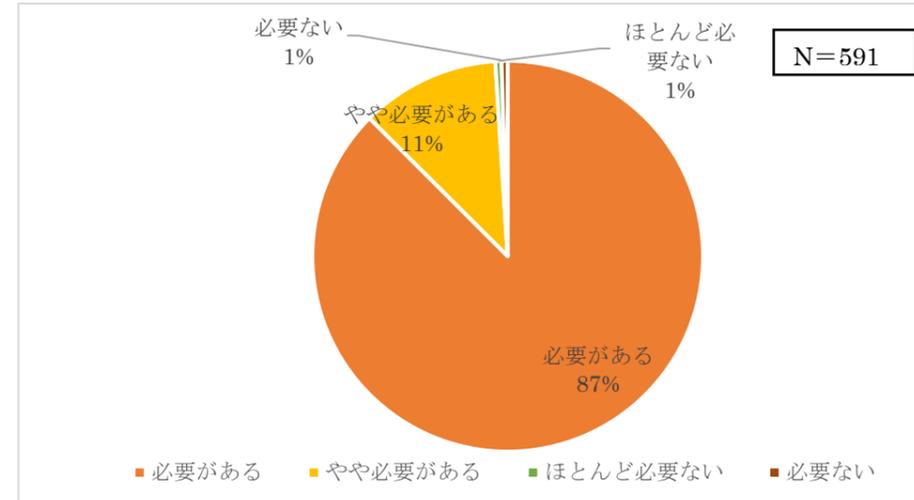
回答総数	東京電力		その他	
	回答数	回答数に対する割合	回答数	回答数に対する割合
591	351	59.4%	240	40.6%

(2) 調査項目

1) 電気、ガス、ガソリンなどの燃料費高騰による収支への影響はありますか。



2) 燃料費の値上げに対する補助金が必要ですか。



3) 令和3年4月と令和4年4月の電気代支出の比較 (N=578)

	全体	東京電力	その他
平均増減率	44.5%	39.8%	51.3%

4) 令和3年4月と令和4年4月のガス代支出の比較 (N=569)

	全体
平均増減率	49.0%

5) 令和3年4月と令和4年4月のガソリン・軽油代支出の比較 (N=510)

	全体
平均増減率	60.8%

燃料費の値上げに伴う緊急影響度調査報告書

令和4年7月

(4) 自由記述

設問「燃料費等の値上げにより特に困っていることがあればご記入ください」

① 頻出語

最も出現頻度が高い語は、「電気」(96 個)である。「燃料」(82 個)、「値上げ」(81 個)、「影響」(80 個)、「施設」(79 個)、「高騰」(76 個)と続く。

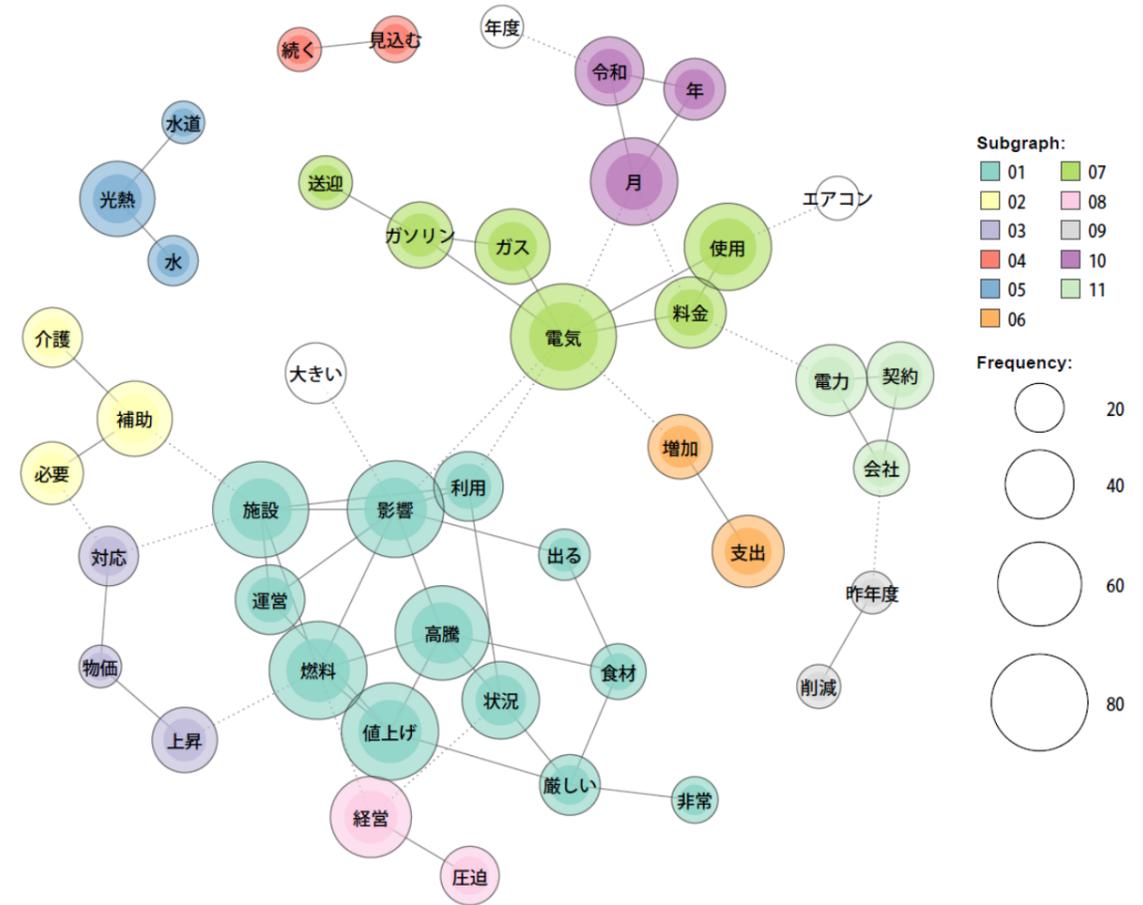
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
電気	96	必要	33	年間	18	現在	12
燃料	82	上がる	32	非常	18	更新	12
値上げ	81	年	32	金額	17	努力	12
影響	80	厳しい	31	空調	17	東京電力	12
施設	79	大きい	31	行う	17	予定	12
高騰	76	介護	30	困る	17	換気	11
月	65	対応	30	お願い	16	減少	11
使用	65	圧迫	29	エアコン	16	全体	11
経営	56	価格	27	削減	16	増大	11
状況	51	増える	27	続く	16	他	11
ガス	48	会社	26	昨年度	15	難しい	11
光熱	48	今後	26	水道	15	比較	11
補助	48	食材	26	年度	15	変更	11
支出	44	事業	25	物価	15	保険	11
電力	43	経費	24	予算	15	冷房	11
料金	43	節電	24	収入	14	検討	10
運営	41	送迎	24	特に	14	今年度	10
利用	41	円	23	限界	13	人件	10
令和	40	節約	23	昨年	13	設定	10
値上がり	39	出る	22	職員	13	設備	10
契約	38	水	21	対策	13	前年	10
ガソリン	37	考える	20	単価	13	多い	10
上昇	36	収支	20	転嫁	13	段階	10
負担	36	コロナ	19	倍	13	予想	10
増加	35	見込む	18	報酬	13		
費用	34	思う	18	感染	12		

② 共起ネットワーク

「円が大きいほど、出現回数が多いことを表している。語と語が線で結ばれているかが共起性や関連性の有無を表し、線の太さが関連の強さとして表現されている。円の位置や近さは共起性とは無関係である」(末吉, 2019)

「テキストマイニング入門」

語と語を結ぶ線上にある数字は共起性の強弱を表す Jaccard 係数である。0 から 1 までの値を取り、関連性が強いほど 1 に近づく(樋口 2013)「JH coder 公式掲示板」。



4 考察

本調査は会員からの燃料費の高騰に対する声から実施することになりました。比較的気候のよい期間の実施になりましたが、著しい高騰が理解できる結果となりました。また、前年4月との比較であるものの、回答の中には施設内での機材入れ替え等により、増減率がマイナスとなった施設の回答も含まれています。これでもなお、高い増加率が確認できます。これから暑い夏、寒い冬をむかえますが、燃料費が安くなる気配さえ感じません。円安や戦争などの世界情勢の影響で、物価もますます上昇しています。自由記述からも、施設側で節約しながら、LEDや新しい機材の入れ替え、安い電力会社などを利用して以前から経費を下げるために様々な努力を行っている様子が記述されています。打つ手がない現状を理解していただき、何らかの支援が必要ではないかと考えます。